



都筑魅力アップ協議会の活動ー「いい景観はまちの財産」ー

都筑区はこの11月で発足25周年を迎えました。横浜市の都市計画事業として建設された港北ニュータウンの入居が始まってから30年が経ちました。

長年都筑区のまちづくりについて提案をしてきた「都筑魅力アップ協議会」では、当然あるものと思ってきた美しい景観が壊されていくことに危機感を持ち、新たなプロジェクトをスタートさせました。

【都筑魅力アップ協議会の活動】

まず、みんなで都筑区のいい景観を認識するという目的で、みんなが「いい景観写真」をHP上に集めるプロジェクトを始めました。

また、いい景観の残る場所をウォーキングしながら写真を撮りHPにアップする企画もしています。

詳細は <https://tsuzuki-miryokuup-kyougikai.jimdofree.com/>

【1】11月16日(土)※実施済

水と緑と農のある風景ー市街化調整区域、農専地区を歩く

【2】12月14日(土)

ロケに最適な都市景観ー市街地を歩く

午前9時:センター南駅改札口集合

都筑の魅力発見！「中川駅周辺の農業と直売所」

中川駅周辺で農業が行われているのは、牛久保町の農業専用地区、早淵川沿いの市街化調整区域、住宅地域内の生産緑地です。農業地域では、新鮮な野菜、果物、植木が栽培されている他に、貴重な緑や広々とした空間を提供してくれています。その緑や空間は地球温暖化防止や防災にも役立っています。農家は小学校教育にも協力し、農業の紹介をしています。



10月26日(土)には、ハウスクエア横浜で開催された「まちかどセレクトカフェ」で、「NPO 法人ぐるっと緑道」の塩入理事長が「都筑区の魅力発見 まちなかの“緑”“農”の効用」というテーマで話をしました。

今は、秋野菜の他に柿、キウイ、ミカンなどの美味しい果物がとれ、農家の自宅前直売所、日曜日の朝7時から中川駅前商業地区の朝市広場で開催される「中川ふれあい朝市」で販売されています。農家の皆さんとお話ししながら新鮮な都筑野菜と果物を買ってみてはいかがでしょうか。

中川駅周辺は秋のイベントで大賑わい

◆10/26(土)オクトーバーフェスト

中川駅前商業地区振興会が新たな試みとして、14時半～20時まで中川駅前広場で「オクトーバーフェスト」を開催しました。広場には、縁日や、焼き鳥やビール等の食べ物の屋台、キッチンカーが並び、日中は舞台上でハロウィン仮装コンテストが行われ、多くの子どもたちが参加しました。夜には大人がビールを飲みながら交流し、地域に知り合いがたくさんできたようです。

◆10/31(木)子ども中川ハロウィンまち歩き

中川駅前商業地区にある4つの保育園と中川西地区セン

ターの子どもたちが、商業地区のお店などをハロウインの仮装をしてキャンディーをもらいに歩きました。このイベントは、保育園とぐるっと緑道が企画し、商業地区振興会が後援して行ったものです。約400人の子どもたちと引率する先生、お店



の皆さんもハロウインの仮装をし、写真を撮る保護者等約800人の人たちで、中川駅前商業地区は大いに賑わいました。

12/10(火) 第13回 留学生カフェ「インドネシアの文化」開催

「留学生カフェ」は、東京都市大学の海外留学生が母国について発表し、市民と交流するイベントです。

■プレゼンター: ファリダ・プトリさん(メディア情報学部) ■時間: 16時半～18時

■会場: 中川西地区センター 【申込】中川西地区センター ☎045-912-6973

主催: 東京都市大学/都筑区役所 協力: NPO 法人ぐるっと緑道/中川西地区センター

お茶を飲みながらの
気楽なカフェです。